

平成24年 教育委員会第7回定例会 会議録

日 時 平成24年 4月24日（火） 午後3時01分～午後3時18分
場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 協議

【文化スポーツ課】

(1) 社会教育委員の委嘱について

【図書・文化資源課】

(1) 平成24年度千代田区文化財保護審議会委員（補充委員）の委嘱について

第 2 その他

【子ども総務課】

(1) 平成24年度移動教育委員会・視察について

出席委員（5名）

教育委員長	市川 正
教育委員長職務代理者	中川 典子
教育委員	古川 紀子
教育委員	近藤 明義
教育長	山崎 芳明

出席職員（10名）

子ども・教育部長	高山 三郎
次世代育成担当部長	保科 彰吾
子ども総務課長事務取扱 子ども・教育部参事	高橋 誠一郎
子ども施設課長	辰島 健
子ども支援課長	依田 昭夫
児童・家庭支援センター所長	山下 律子
学務課長	平井 秀明
指導課長	佐藤 興二
文化スポーツ課長	恩田 浩行
図書・文化資源課長	柳 晃一

欠席委員（1名）

参事（子ども健康担当）	木村 博子
-------------	-------

書記（2名）

総務係長	小宮 三雄
総務係員	鶴田 優子

市川委員長 | それでは、開会に先立ちまして、本日、傍聴者から傍聴申請があった場合には、傍聴を許可することといたしたいと思っておりますので、あらかじめご了承ください。

ただいまから、平成24年教育委員会第7回定例会を開会いたします。

本日、木村参事は、欠席です。

今回の署名委員は中川委員をお願いいたします。

◎日程第1 協議

文化スポーツ課

（1）社会教育委員の委嘱について

図書・文化資源課

（1）平成24年度千代田区文化財保護審議会委員（補充委員）の委嘱について

市川委員長 | それでは、早速ですが、日程第1に入ります。

初めに社会教育委員の委嘱について、文化スポーツ課長から説明してください。

文化スポーツ課長 | それでは、社会教育委員の委嘱について協議することということで、ご説明させていただきます。

まず初めに、皆様、既にご案内のことと存じますけれども、社会教育法に定められております社会教育委員に関する事項につきましては、教育委員会に規則に基づきまして、区長部局への補助執行という形で進めております。また、スポーツや文化に関する事項につきましては、一部を除いて、区長部局での文化スポーツ課で担当しております。

それでは、資料に基づきまして説明いたします。

社会教育委員は、生涯学習推進委員の中から、社会教育法に基づく委員をもって構成しております。任期は2年、委員は6名以内です。今般、社会教育委員について、下記のとおり6名の委員を委嘱したいと考えておまして、ご協議をお願いいたします。

委嘱期間につきましては、生涯学習推進委員会設置条例第4条第2項に基づきまして、平成24年5月30日から平成26年3月31日までとなります。

記書き以下に委員の案ということで、氏名、性別、所属団体等の名称、それから区分という形でお示ししております。

若干委員のプロフィールについてご説明いたしますと、1番の佐藤教授につきましては、前回の社会教育委員に引き続きということをお願いしたいと思っております、ご専門は社会教育です。

2番目の入澤教授につきましては、今回新たに委員に専任ということで、ご専門は教育法学それからスポーツ法学です。

3番目の江川委員につきましては、スポーツ推進委員協議会からの推薦ということで、区分的には社会教育の関係者になります。

4番目の谷委員については、前回23年度に引き続き社会教育委員をお願いしたいと思っております。

5番目の長尾委員につきましては、千代田区の高等学校の協議会の中からご推薦ということで、今回、東京家政学院高等学校の校長の長尾先生をお願いいたします。長尾先生のご専門は音楽と伺っております。

校長会の推薦ということで、麹町小学校の浅川校長先生にも入っていただきまして、合計6人になります。

関係法令につきましては、ご参考までに、資料裏面のほうに生涯学習推進委員等設置条例それから社会教育法ということで、記載しております。

説明につきましては、以上でございます。

市川委員長

説明が終わりましたが、何かご質問等あれば、どうぞお願いします。

人事案件ですので、特段ご質問はないのかもしれませんが、特になければ、次回の教育委員会に議案として提出をしてもらって決定することといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

(了 承)

中川委員

一つだけ伺います。

市川委員長

どうぞ。

中川委員

生涯学習推進委員というのは、構成の中に公募区民枠が入っているんですけども、社会教育委員というのは公募の人が入ってなくても別にいいわけですよ。

文化スポーツ課長

公募委員を入れなければならないという訳ではございませんので、そういう意味では、今回は公募委員の方は生涯学習推進委員のみとなっております。

市川委員長

よろしいですか。

それでは、少し前に申し上げましたように、次回、議案として提出をしていただいて、議決を求めていきたいと思っております。

それでは、次に、平成24年度千代田区文化財保護審議会委員（補充委員）の委嘱について、図書・文化資源課長、説明してください。

図書・文化資源課長

平成24年度千代田区文化財保護審議会委員（補充委員）の委嘱について、協議をお願いいたします。

本件は、千代田区文化財保護審議会委員につきましては、昨年、平成23年4月1日付、任期2年間ということで7名の委員の委嘱を行いました。平成24年3月22日に同委員の吉原健一郎氏のご逝去しましたため、同分野の学識経験者として1名を補充するものでございます。

補充委員でございますが、お名前が加藤貴先生、所属は早稲田大学教育学部非常勤講師、専門分野は日本史（近世）でございます。委嘱期間は、任

期2年間の残りの1年間という形になります。

参考までに、3番目に、根拠となります条例を書いております。

この加藤貴先生でございますけど、簡単にプロフィールをご紹介させていただきます。別紙をご覧くださいませでしょうか。昭和27年7月生まれの60歳でございます。

行政とのかかわりについて、特にご説明いたしますと、一番右側の欄になりますけれども、現在も北区の文化財保護審議会委員の会長を務められておりまして、かつ、葛飾区の文化財保護審議会委員でもございます。

特に、千代田区との関係におきましては、「新編 千代田区史」の原稿の執筆を手がけていただきました。その他としましては、平成15年度、19年度、23年度と、文化財の特別展も手がけていらっしゃっております。最近では、その他、千代田区の文化財調査報告書としまして、原胤昭さんの旧蔵資料調査報告書も手がけていらっしゃいます。

以上、よろしく願いいたします。

市川委員長

説明が終わりました。何かご質問等ありましたら、どうぞ。

特によろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

それでは、次回、議案として提出をしていただいて、決定をしたいと思っております。

◎日程第2 その他

子ども総務課

(1) 平成24年度移動教育委員会・視察について

市川委員長

次に、各課長から報告があればお願いをしたいと思います。

子ども総務課長

それでは、報告事項でございます。お手元に資料があろうかと思っております。移動教育委員会・視察についての、これは事務局からの提案でございます。

移動教育委員会、平成21年度から開始いたしまして、平成21年度には3回、平成22年度にはそれぞれ5回行っておりまして、また今年度も5回程度の移動教育委員会を考えているところでございまして、表はその候補の施設等でございます。

新しい施設というところでは、麴町中学校ですとか、昨年11月に改築オープンいたしました日比谷図書文化館など。また、今年の4月からの取り組みの昌平幼保連携の施設の視察等をあわせた形での移動教育委員会、あるいはご視察ということでいけば、昌平のほかには、この養育事業の推進という中で、千代田小学校であります。神田さくら館の上に子ども発達センターが11月に竣工いたします。竣工後にその視察をお願いできればと考えております。

また、昨年度は視察を3カ所行っております。岩井の臨海学校、孺恋自然体験交流教室、軽井沢移動教室と行っております。また戻りまして、九段中

等教育学校至大荘行事、昨年、大震災の影響で至大荘行事を自粛したとのことで、今年は2回に分けて行います。2回ありますので、そのうちのどれか、1日、日帰りというところでご視察はどうかと考えているところです。

それから、認証保育所が約10カ所あります。

内容には、今申し上げました、昨年度までの実績、どういったところで開催したのか、そういったものが記載したものでございまして、第1回目の移動教育委員会、事務局のほうで今考えておりますのは、ご相談にはなりますが、5月の、第2回目の定例会のほうで考えているところでございます。

報告は以上です。

市川委員長

説明が終わりまして、このような案が提示されているわけですが、何かご意見等ありましたらどうぞ。

古川委員

今、視察の案を出していただきまして、昌平の保育園と幼稚園がどうかかわりを持って、教育活動をしていらっしゃるのかという点が気になっています。あと、特色ある教育活動の中で、それぞれ部活動の推進ということがあると思うんですけども、活動が活発になることと、先生方の負担の軽減という目的もあると思うんですが、その推進をされたことで、先生方にとって、例えば外部指導員の方を呼んでいる場合など、特に負担の面で、変わった部分を教えていただきたいと思います。また、そういったところを今後の移動教育委員会でみていけると良いと思いました。

子ども支援課長

まず、昌平幼保一体施設、小学館アカデミー昌平保育園と昌平幼稚園のかかわりでございますけれども、この4月に昌平幼稚園、3歳児に長時間課程、来年度4歳児、その次が5歳児ということで準備を進めているところでございます。

昌平保育園については、この4月からということで、日々のかかわりについては、今後、学校行事、園行事、いろいろありますので、その辺の詳細をこの下旬ぐらいから詰めて、運動会とかそういった行事について、いろいろ交流していこうというようなところは、大きなところは決まっていますが、詳細はこれから詰めていくという段階でございます。

指導課長

今の若干補足をさせていただきます。

実は、今日、小学校と幼稚園、こども園の自主的な校園長会がありまして、私も出席をしてきたところです。そこで、昌平幼稚園と保育園の連携のことについても話題に上ったところなんですが、実はまだ、4月に入って一月も経っていない状況で、そうすると、子どもたちが、やはりまだ、保育園も幼稚園もなれていない状況で、もう泣き叫ぶ子どもたちが多かったりということで、今、子ども支援課長がおっしゃったとおり、これから順次計画的に進めていくというようなことを話されておりました。

それと、2点目の特色ある教育活動の部活動の推進ということで、こちらのほうも、適切なお答えがちょっとまだできませんが、予算的には、外部指導員という形で、中学校は180万円ぐらいの予算をつけておりますので、こ

れから部活動の充実に向けて、指導員の派遣をしていきたいというような状況です。現実的に、今、中学1年生が入部届をして、体験入部がちょうど終わったころなんです。今週から実質的な部活動が始まるというような状況です。指導課としても、どういう状況なのかを把握しながら、執行率等も含めて見ていきたいと思います。そのときはまたご報告いたします。

市川委員長

よろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。特にございませんか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

教育委員さんから何かございましたら、どうぞ。

特にございませんか。よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

それでは、特にないようでございますので、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。ご苦労さまでした。